

1 1 2018 1 4

# タイトル未定

## 知能情報講座 青野 義樹

### 1. はじめに

この文書は、大阪府立大学 工学域 情報工学課程 (旧カリキュラムである工学部 知能情報工学科を含む) の卒業研究論文ならびに大学院工学研究科 電気・情報系専攻 知能情報工学分野の修士学位論文の概要テンプレートの使い方を説明した文書である。この文書自体が概要テンプレートで書かれている。

### 2. 作成要領

#### 2.1 卒業研究論文

1. ページ制限, 用紙  
卒業論文概要は A4 版 原則 1 ページとし片面を用いる (2 人で両面)。特別な場合 2 ページまで可。
2. フォーマット  
指定された LaTeX または Word のテンプレートを使用する。
3. グループ番号とページ番号  
ページの右上に「グループ番号－グループ内通しページ番号」を記入する。

#### 2.2 修士学位論文

1. ページ制限, 用紙  
修士学位論文概要は A4 版 2 ページとし両面を用いる。
2. フォーマット  
指定された LaTeX または Word のテンプレートを使用する。
3. グループ番号とページ番号  
ページの右上に「グループ番号－グループ内通しページ番号」を記入する。

### 3. LaTeX テンプレート

#### 3.1 ファイル

- abstract-ja.pdf  
サンプル PDF (日本語版)
- abstract-ja.tex  
サンプル LaTeX ファイル (日本語版)
- index-ja.bib  
サンプル BibTeX ファイル (日本語版)
- abstract.sty  
概要スタイルファイル
- jabbrvunsrt.bst  
BibTeX スタイルファイル (日本語版)
- CSIS.eps  
分野のロゴ (図のサンプルとして)
- fancyhdr.sty  
ヘッダとフッタを操作するスタイルファイル (<https://www.ctan.org/pkg/fancyhdr> よりダウンロード)
- titlesec.sty  
セクションタイトルを操作するためのスタイルファイル (<https://www.ctan.org/pkg/titlesec> よりダウンロード)

Table 1: 表の例 : 九九

| - | 1 | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 1 | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
| 2 | 2 | 4  | 6  | 8  | 10 | 12 | 14 | 16 | 18 |
| 3 | 3 | 6  | 9  | 12 | 15 | 18 | 21 | 24 | 27 |
| 4 | 4 | 8  | 12 | 16 | 20 | 24 | 28 | 32 | 36 |
| 5 | 5 | 10 | 15 | 20 | 25 | 30 | 35 | 40 | 45 |
| 6 | 6 | 12 | 18 | 24 | 30 | 36 | 42 | 48 | 54 |
| 7 | 7 | 14 | 21 | 28 | 35 | 42 | 49 | 56 | 63 |
| 8 | 8 | 16 | 24 | 32 | 40 | 48 | 56 | 64 | 72 |
| 9 | 9 | 18 | 27 | 36 | 45 | 54 | 63 | 72 | 81 |

Figure 1: 図の例 : ロゴ

#### 3.2 設定

abstract.tex の上部には以下の設定項目があり、各自しかるべき値に変更する。

```
% Language (1 = Japanese, 2 = English)
\setlang{1}
% Bachelor or Master (1 = Bachelor, 2 = Master)
\setborm{2}
% Fiscal year
\setfy{2015}
% Group number
\setgnum{3}
% Presentation order
\setorder{2}
% Increase page number (optional)
%% \pplus{1}
```

Presentation order は発表順である。これが指定されると、卒業研究論文の場合は 1 人当たり 1 ページ、修士学位論文の場合は 1 人当たり 2 ページとしてページ番号が自動的に計算される。何らかの事情によりページ番号がずれる場合は、\pplus{1} のように指定してページ番号を増加 (または減少) させることができる。

#### 3.3 図表

表 1 は表の例、図 1 は図の例である。

#### 3.4 参考文献

pBibTeX の使用を推奨する。その場合、同梱されている jabbrvunsrt.bst を使うこと。これは、jabbrv.bst のソート機能をオフにしたものである。[?, ?, ?] は使用例である。

#### 3.5 旧カリキュラムの学生の場合

旧カリキュラムである工学部 知能情報工学科に所属する学生は、abstract.sty の代わりに abstract4past.sty を使用する。

#### 4. MS Word テンプレート

MS Word 用のテンプレートも用意している。フォーマットは LaTeX テンプレートに準ずることとする。以下に設定方法の概要を示す。

##### 4.1 ファイル

- abstract\_ja\_word.pdf  
サンプル PDF(日本語版)
- abstract\_ja\_word.docx  
サンプル Word ファイル (日本語版)

##### 4.2 ヘッダの設定

ヘッダ部分をダブルクリックするとヘッダが編集可能になるので、以下の項目を設定する。

###### 4.2.1 論文の種類

- 工学域 情報工学課程の場合  
「情報工学課程卒業研究論文概要」とする。
- 大学院工学研究科 知能情報工学分野の場合  
「知能情報工学分野修士学位論文概要」とする。
- 旧カリキュラムである工学部 知能情報工学科の場合  
「知能情報工学科卒業研究論文概要」とする。

###### 4.2.2 年度およびグループ番号

年度およびグループ番号は直接入力する。

###### 4.2.3 ページ番号

ページ番号は「ページ番号の書式設定」で「開始番号」を変更する。

##### 4.3 スタイル

Normal, Title, Author, Section, SubSection, SubSubSection, References, Table, Verbatim, Enumerate, Itemize のスタイルが定義されているので、適宜使用する。